

「民泊」事業者を支援

リバティー 地域別に予約サイト

小規模旅館の業務支援

ソフトを開発するリバティー（静岡市、福原良佐社長）は住宅の空き部屋などに観光客を有料で泊める「民泊」を手掛ける事業者向けの運営支援事業を始める。漁業や農業や地域の祭りと組み合わせた宿泊客へのサービスを提案し、集客を支援する。地域別に予約サイトを設け、北海道などで民泊の事業者を掘り起こす。

8月中に沖縄県で民家など旅館業法を満たす約20軒を対象に実証実験を始める。民泊予約サイトを8月末に設け、営業を支援する。10月までに民泊運営のノウハウを学び、全国で代理店や参加する民泊の運営者の募集をする。ネット活用の知識に乏しいが、広い敷地を持つ農家や漁師の家に狙いを定める。

価格はシステム、営業支援を含めネットを通じ

た売上高の1割程度を予定。固定費は取らない。3年後に5000件の契約を目指す。

民泊は旅館業法上の簡

易宿所の許可を得るか、東京都大田区など国家戦略特区に基づく条例を設けた自治体で認定を受けなければならない。今後の規制緩和をにらみ、全国規模でサービスを広げる。

同社は10室程度の宿泊施設に特化した運営支援サービス、ソフト販売を手掛ける。